

2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2022年10-12月の延べ宿泊者数（全体）は「1,919,150人」、前年同期比で「+14.5%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,847,820人」、前年同期比で「+11.1%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「71,330人」、前年同期比で「+470.2%」でした。

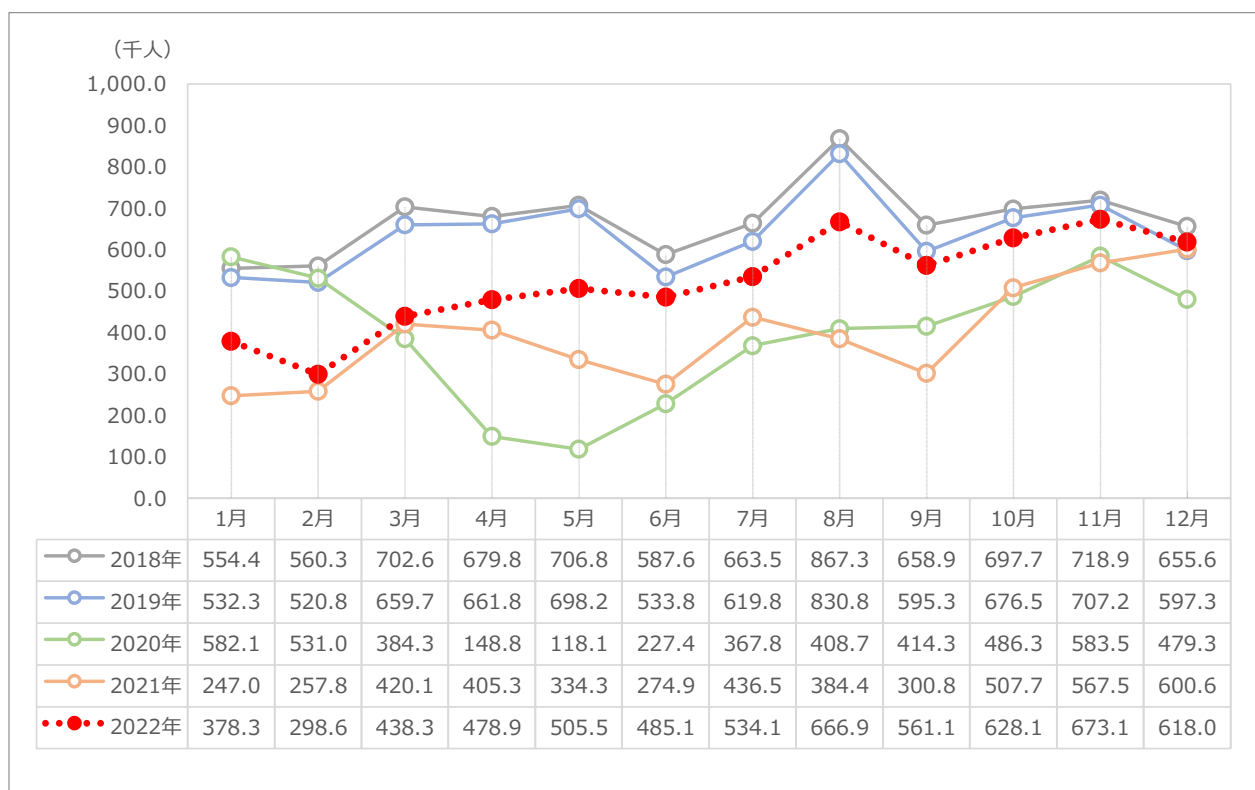
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,919,150	人	（前年比： +14.5 %）
10月：	628,090	人	（前年比： +23.7 %）
11月：	673,050	人	（前年比： +18.6 %）
12月：	618,010	人	（前年比： +2.9 %）

※前年比・・・2021年4Qとの比較

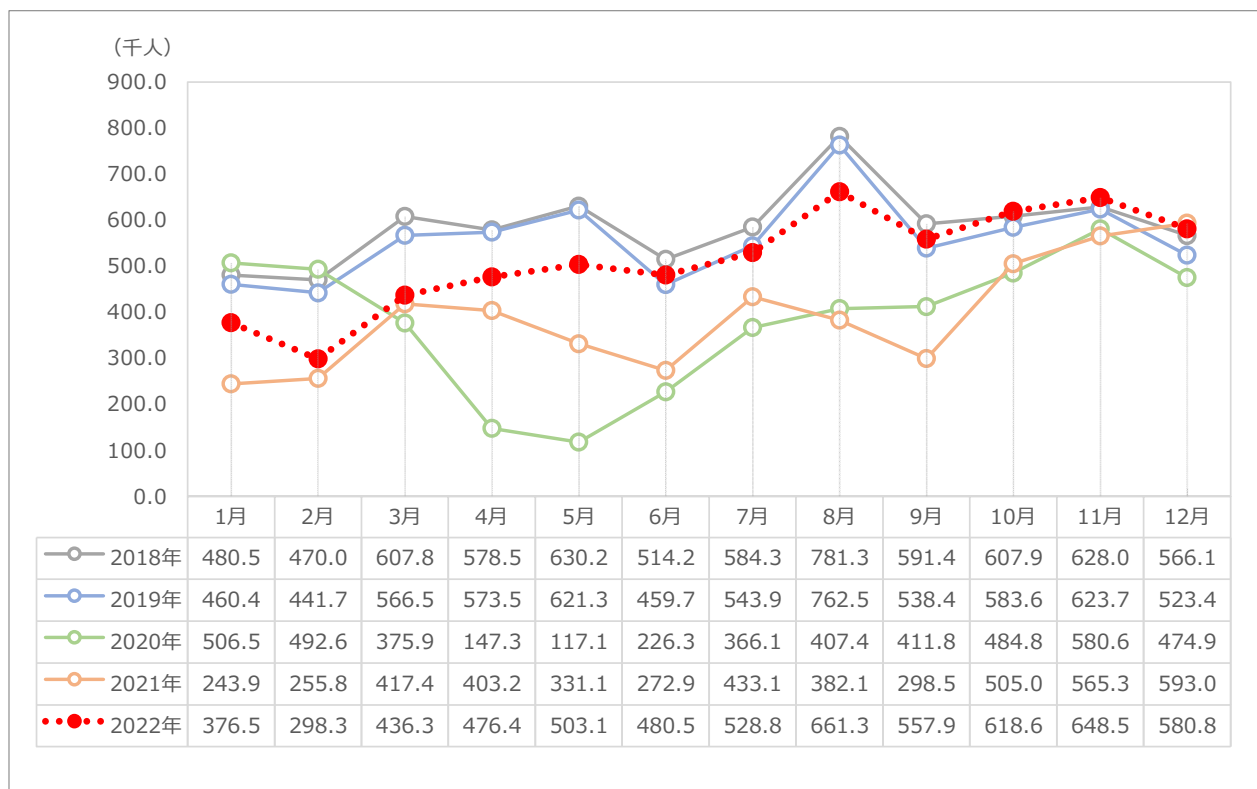
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

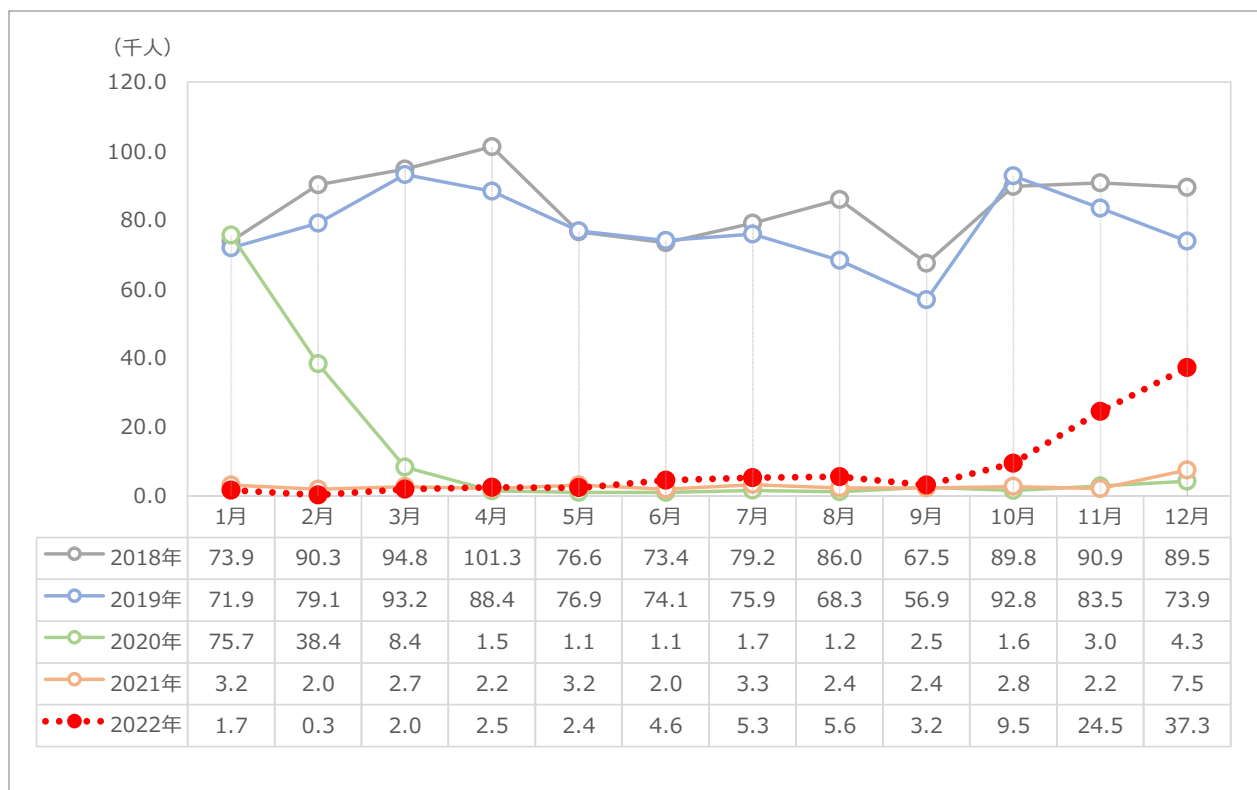


2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

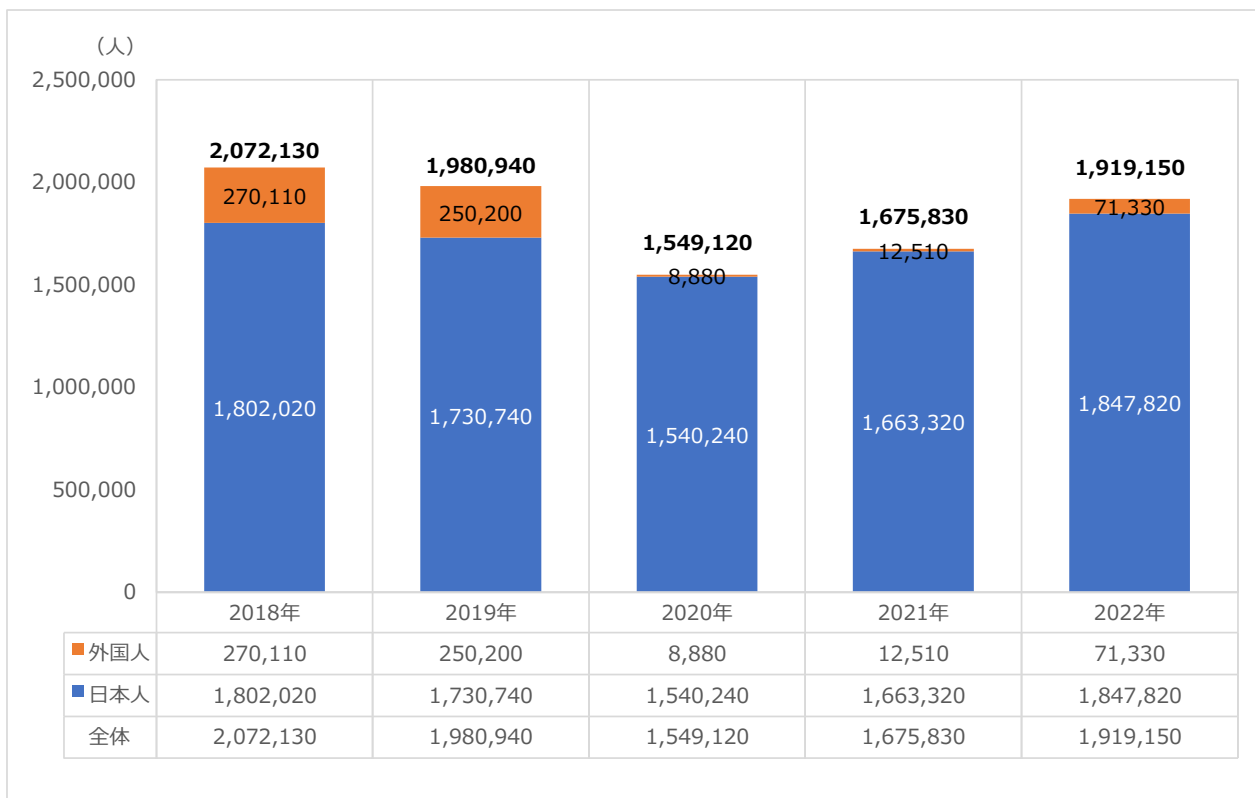


③ 外国人延べ宿泊者数

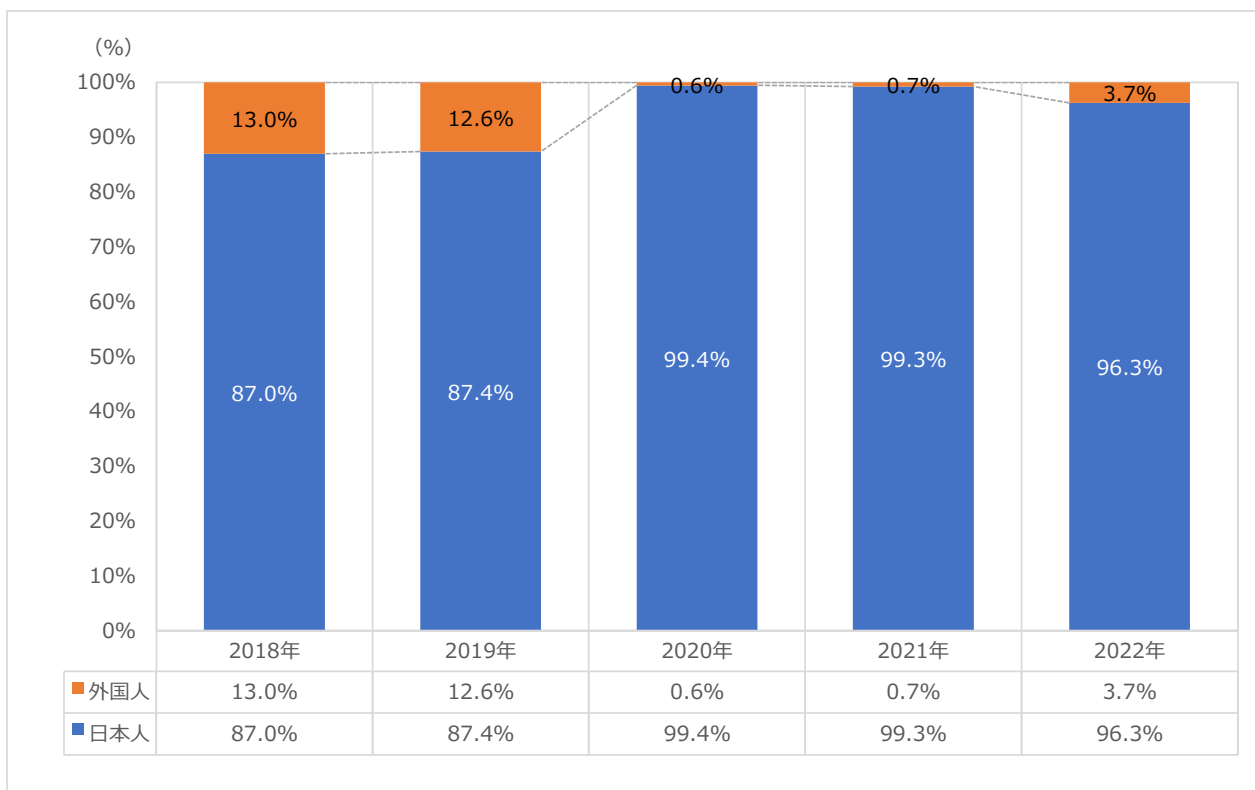


2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



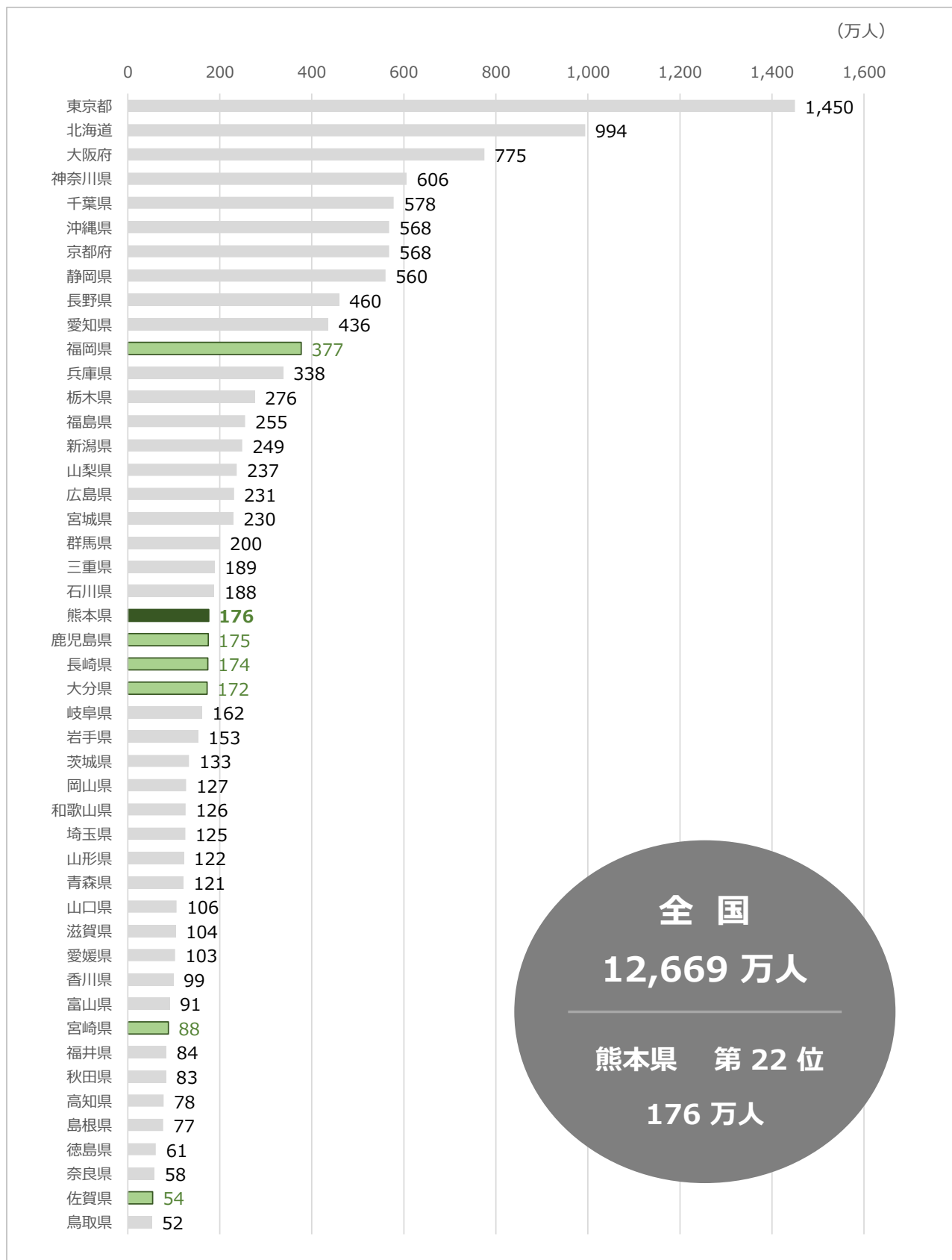
5. 日本人・外国人別割合



2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

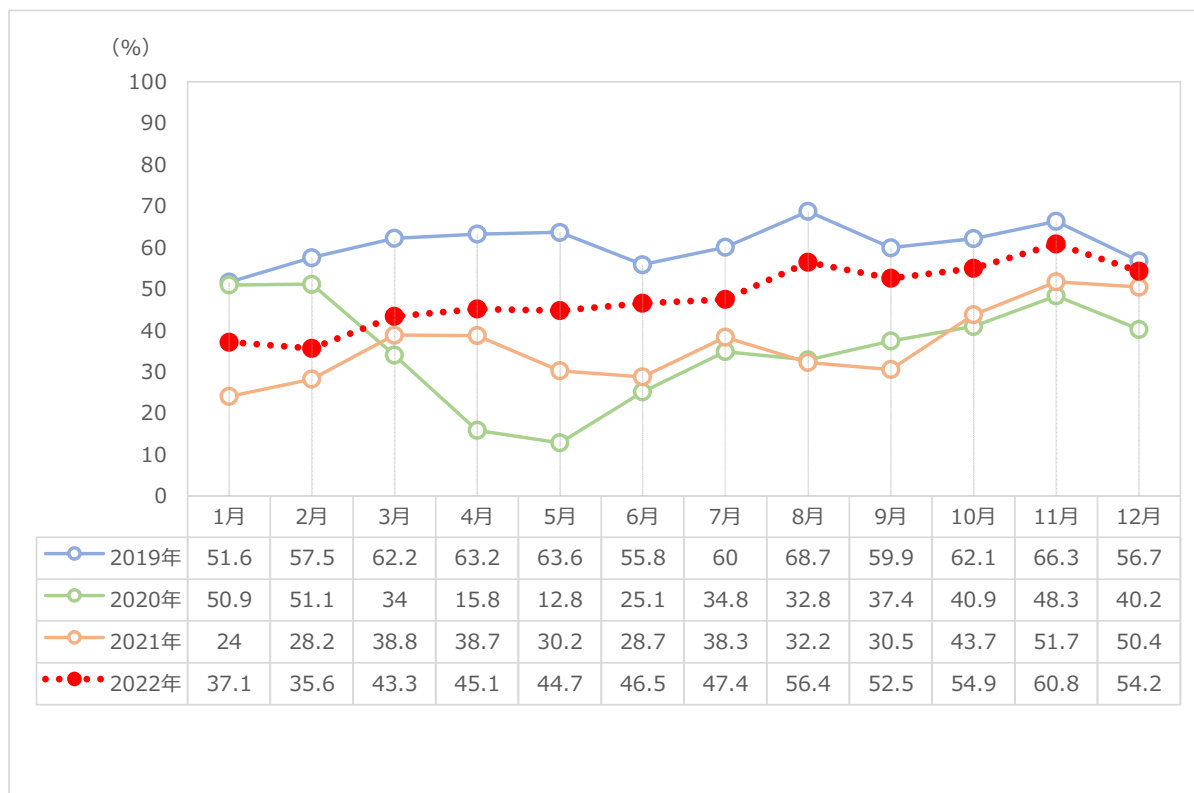
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



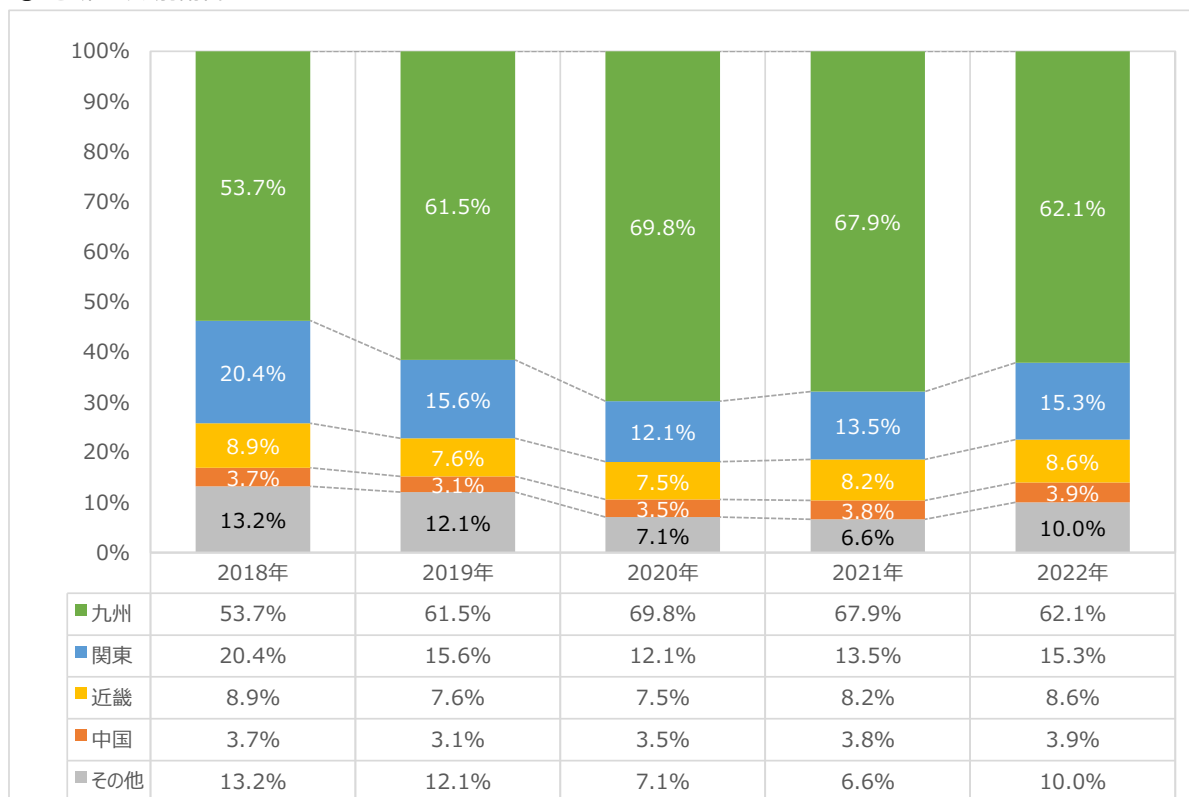
① 施設別稼働率

施設	2021年			2022年		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月
全体	43.7%	51.7%	50.4%	54.9%	60.8%	54.2%
旅館	34.0%	45.0%	41.4%	44.2%	53.6%	43.7%
リゾートホテル	31.1%	42.1%	43.6%	46.5%	54.1%	50.8%
ビジネスホテル	55.7%	63.3%	61.3%	67.8%	70.4%	64.2%
シティホテル	57.2%	69.2%	67.0%	64.3%	72.6%	65.7%
簡易宿所	15.0%	19.1%	22.9%	14.4%	26.7%	27.6%
会社・団体の宿泊所	29.9%	11.3%	5.8%	32.1%	35.4%	20.5%

2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



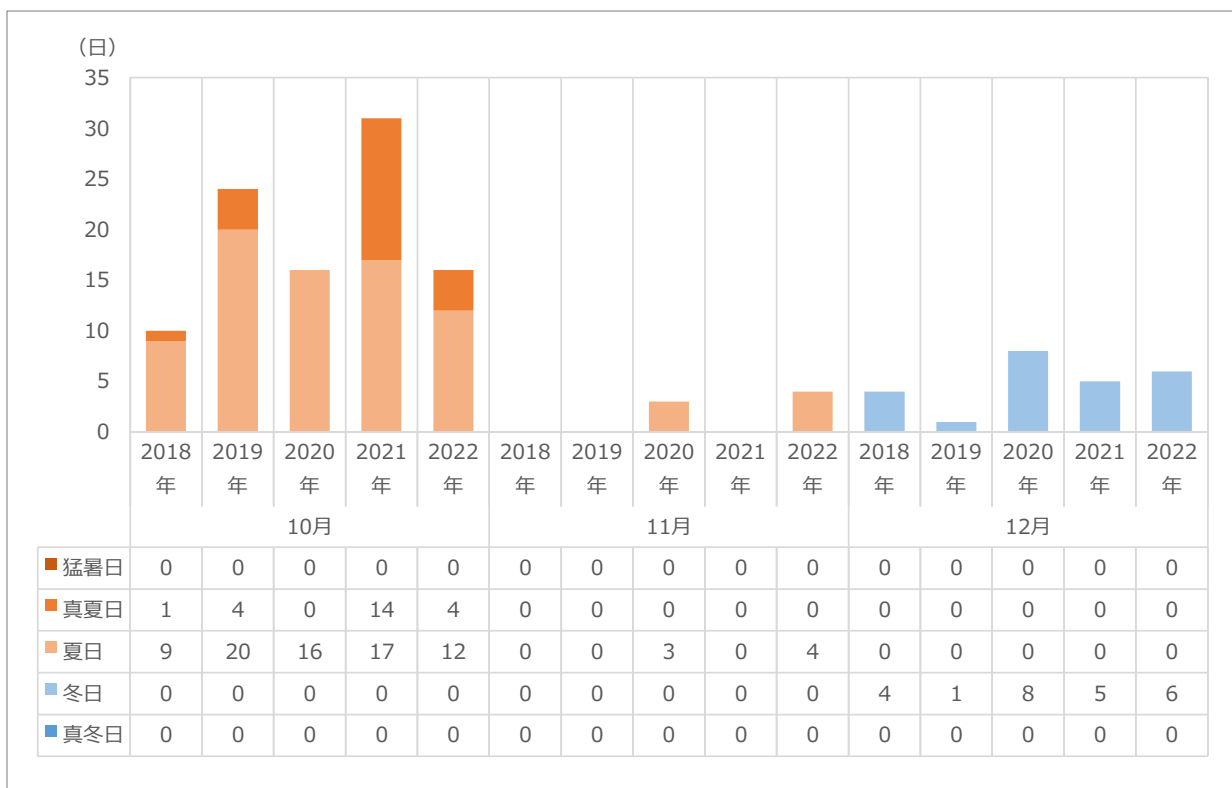
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2021年		2022年	
1	熊本県	46,110人	熊本県	35,258人
2	福岡県	19,575人	福岡県	30,471人
3	東京都	7,619人	東京都	10,585人
4	鹿児島県	4,230人	鹿児島県	9,109人
5	神奈川県	3,040人	大阪府	5,989人
6	大阪府	3,002人	神奈川県	5,709人
7	広島県	2,964人	愛知県	4,668人
8	滋賀県	2,867人	宮崎県	4,649人
9	宮崎県	2,721人	長崎県	4,250人
10	愛知県	2,039人	大分県	3,783人

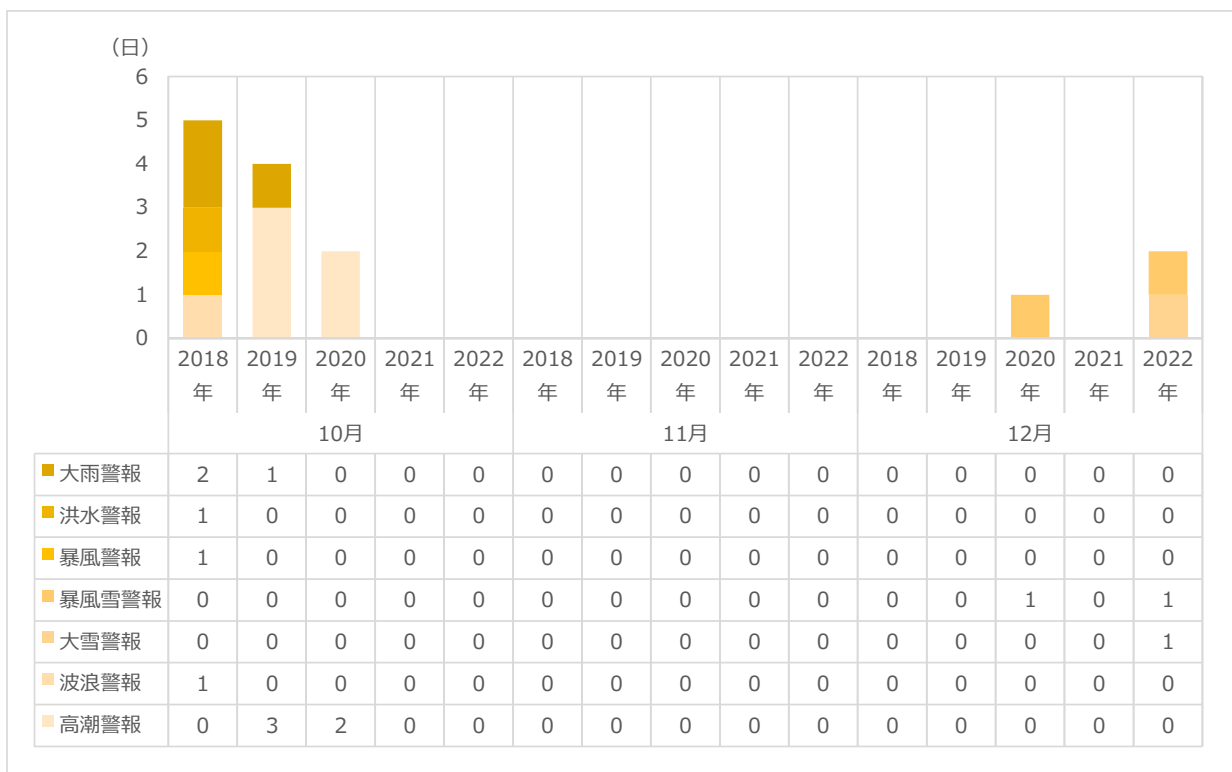
2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2022年4Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など 【特記事項がない場合は空欄】

▽ 地域のトピックス ▽

・JTB、パイオニア、トヨタレンタカーリース熊本、熊本県など、「くまモンランドDX事業コンソーシアム」を設立（10/5）

・阿蘇市が「世界の持続可能な観光地100選」に2年連続で選定（10/5）

・「くまもと再発見の旅（県民割）」実施（エリア：熊本県全域、対象：九州在住者（W）、

宿泊期間：3/22～10/10※）

・「くまもと再発見の旅（全国版）」実施（エリア：熊本県全域、対象：全国、

宿泊期間：10/11～※）

※GW・年末年始を除く

（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要

▽ 観光シーズンの動向 ▽

新型コロナウイルスの感染動向が落ち着いた9月以降、観光需要が再び回復に向かった。特に今期は、10月11日の全国旅行支援（「くまもと再発見の旅（全国版）」）の開始に加えて、入国制限の緩和によるインバウンドの回復、TSMCほか半導体関連を中心とした工事需要により、宿泊動向は平日・休日ともに大きく伸張した。10～12月は日本人延べ宿泊者数が3カ月連続で2019年同月を上回ったほか、12月には、コロナ禍以降で初めて、延べ宿泊者数が2019年同月を上回った。

熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2018～2021年は確定値、2022年は第2次速報値を採用
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数
延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
 - 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
 - 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。